

学校教育目標 夢をもち 個性をみがく 優しい子どもの育成 一たすけあう くじけない すずんでまなぶー 4 (目標を上回る達成) 3 (達成・概ね達成) 2 (目標を下回る未達成) 1 (目標を大きく下回る未達成)

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための の方策	評価項目 (数値目標)	評価指標	評価方法	評価基準				担当	評価		短期経営目標の達成状況
							4	3	2	1		9月	2月	
確かな学力	◎主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力を向上させる。	●みのりタイムの計画的・継続的実施 ●学力検査結果を活用した授業改善	・CRT検査の結果で学年平均が全国平均を上回る。 ・単元テストで平均80点以上の児童を65%以上にする。	CRT検査の結果(全国平均との差) 学期の単元テストの平均点	1-6年生国語・算数の12教科中の平均を上回った教科数 1-6年生の23の通常学級の内、指標を上回る学級数	12教科のうち8教科以上上回る	12教科のうち6教科以上上回る	12教科のうち4教科以上上回る	12教科のうち上回った教科が3教科以下	研修部	9月	2月	(後期に実施)
		深い学びのある楽しい授業を創造する。	●考えをもたせるためのノート指導 ●考えを深めるための授業づくり	・「授業が楽しい」「授業がわかる」児童を85%以上にする。 ・「振り返りで、自分の考えがもてる」児童を90%以上にする。	児童の回答の割合 児童アンケート	児童アンケート	平均90%以上	平均87%以上	平均85%以上	平均85%未満	研修部	4		国語・算数ともに達成できたクラスは21クラス、国語で1クラス・算数で1クラス達成できていなかったのので、達成できていない原因を探り、改善できるようにしていく。
		いじめのない楽しい学校をつくる。	●いじめの早期発見・早期対応 ●学級集団作り	・学校に来るのが楽しい児童の割合を85%以上にする。	児童の回答の割合 児童アンケート	児童アンケート	肯定的評価90%以上	肯定的評価85%以上	肯定的評価75%以上	肯定的評価75%未満	生徒指導部	4		児童アンケートの結果「学校に来るのが楽しい」と答えた児童は全校で91%であった。今後は、否定的回答の児童に対して個別に要因を聞き出し、解決策を考えていく。また第2回のQ-Uテストの結果を分析し、学級経営の見直しを図り、児童の「自己有用感」を高める取り組みを計画的に行っていく。
豊かな心	◎豊かな感性と思いやりの心をもつ児童の育成	東広島スタンダードを身に付けさせる。	●積極的に挨拶する	・保護者アンケートの「よくあいさつをする。」のアンケート項目において、肯定的評価を75%以上にする。	保護者の回答の割合 保護者アンケート	保護者アンケート	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満	生徒指導部	1		保護者アンケートの結果(10月実施)「よくあいさつをする」と回答した保護者は、全体で67%であった。今後は、11月から始める児童会の「あいさつ運動」、全校で取り組む「あいさつ目標」を通して、あいさつを進んでできる児童を増やしていくとともに、あいさつの質を高める。
		読書の習慣を身に付けさせる。	●図書室の利用促進 ●読書タイムの計画的充実	・高学年60冊 中学年80冊 低学年100冊 読んだ児童の割合を90%以上にする。	目標を達成した児童の割合 月に10冊を目安に毎月調べて表にする	児童アンケート	100%以上	90%以上	80%以上	80%未満	教務部	3		読書冊数の達成率が90%以上となった学級は、23学級のうち14学級(61%)であった。学校全体の達成率は91%であったが、クラスによって達成率に差がある。読書をしていても記録を書いている児童がいるため、読書タイムの時間には必ず読書記録を机に出すよう担任が声をかけていくようにする。
		基礎体力の向上	●「走の運動」を意識した授業実践 ●体育委員会による「走の運動」の取組	・体カテスト48項目中、県平均以上が、男子30項目以上、女子30項目以上にする。	体カテストの結果 体カテスト	体カテスト	男女共に、目標値を大きく上回って達成	男女共に達成	男女のどちらかが達成	男女どちらも未達成	保健安全部	3		昨年度の全国平均比較によると、男子32項目、女子33項目平均を上回った。複数回実施したり、平均数値を示しクリアすると色がぬれビンゴになる体カムキムキビンゴを実施したりして、全国平均を意識して取り組むことにより、平均を上回ることができた。「50m走」や「握力」に課題があるので、授業での体幹トレーニング・鬼遊びを活用する。また、体育委員会による「環境づくり」「走運動」「ドッジボール大会」の取り組みを行う。
健やかな体	◎くじけない強い意志とたくましい体を備えた児童の育成	生活習慣の確立	●通信・講師による講話等による啓発と取組経過の発信	・生活リズムアンケート内の「はみがき」の習慣化(平日朝・昼・晩、土日朝・晩)7/7の達成児童を70%以上にする。	目標を達成した児童の割合 生活リズムアンケート	生活リズムアンケート	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	保健安全部	2		第1回目(6月)実施・・・64%(469/732) 第2回目(9月)実施・・・69%(497/721) 1回目と2回目の平均・・・66%(966/1453) 歯みがきの実施が全部○になる7の児童の割合は66%だった。6月のアンケートと比べると9月は5%上昇したが、学校教育目標の70%には届かなかった。日ごろから職員による声かけを行うとともに、保健委員会による「歯みがきウィーク」の実施、通信などによる保護者啓発を行い、歯みがきの習慣化を図る。
		基礎体力の向上	●欠席児童への確実な連絡・連携により欠席率を下げる	・1日あたりの欠席児童の割合を1.6%以下にする。	1日当たりの欠席児童の割合 日々の欠席児童数の集計	欠席児童数の集計	1.5%未満	1.5%以上 1.6%未満	1.6%以上 1.7%未満	1.7%以上	総務部	3		4月から9月末現在までの延べ欠席数1,007人、授業日数87日より、1日の平均欠席数は11.6人となっている。児童数に対する割合は1.51%となり、目標値はクリアできている。しかし4,5月より9月の欠席数が増加しており、児童の心の成長や感染性の疾病の流行など、心身両面からの注意が必要である。また、土曜日を参観日等により学校休業日とした場合、児童の欠席が他の曜日の倍程度となる。土曜休みが定着しており、家族の予定や習い事等による欠席が目立つ。土曜日の欠席について、評価指標に含むか検討の余地がある。
		児童・保護者・地域への誠実な対応	●受容的な温かい学級経営	・「地域や保護者に気持ちのよい対応をしている。」のアンケート項目において、肯定的評価を90%以上にする。	保護者の回答の割合 保護者アンケート	保護者アンケート	95%以上	90%以上	85%以上	85%未満	総務部	4		第1回保護者アンケートでは、「地域や保護者の方々に気持ちのよい対応をしている。」の項目において、肯定的評価が96%であった(「よくわからない」という回答を除けば98%)。「家庭との連携を大切にしている」でも、肯定的評価が91%となっており、保護者から信頼される学校づくりが進んでいることが伺える。しかし、「子どもとのふれあい」、「わかりやすい授業」、「子ども同士のトラブル対応」の項目において、「わからない」という回答が12%あり、情報公開や家庭との連携方法について、改善を進めていく。
その他	◎信頼される学校づくり ◎健全な職場づくり	校舎内外の美しい環境づくりの推進	●環境チェックリストの実施	・環境チェックリストを毎月1回以上実施する。	実施回数 環境チェックリストを毎月実施し、環境整備の状況を把握する	環境チェックリストを毎月実施し、環境整備の状況を把握する	12回以上(前期6回以上)	10回以上(前期5回以上)	8回以上(前期4回以上)	8回未満(前期4回未満)	総務部	4		環境チェックを9月末現在6回実施した。月1回、参観日や学校行事等で来校者がある日を中心に実施したが、学習環境の整備に向けて、きちんと取り組まれている。しかし、毎日の児童の掃除に関しては、集めたごみの捨て忘れや掃除道具の片付け忘れなどの課題が見られた。後期は、掃除後に「振り返りタイム」を導入するなど、取組方法を見直し、普段からきれいな学校づくりができるよう取り組んでいく。
		働き方改革の推進	●学年設定時刻による退校の実施	・80%以上の実施	実施割合 衛生委員会で実施状況を確認する	衛生委員会で実施状況を確認する	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	総務部	1		各学年部で週1回、早期退校曜日の目標を設定してもらい、週予定の中に明記することで早期退校を意識づけるようにしたが、達成率は60%であった。昨年度と比較すると、校内全体での時間外勤務の平均時間は短くなってはいるが、設定通りに退校できているとは言えない。引き続き、教職員の意識改革を図っていく必要がある。